

## 平成30年度 科学教育若手教員研修会 徳島大会 開催報告

### 1. 研修の目的

新学習指導要領の理科目標に示された、「資質・能力を育成する」ためには、理科の授業の中で、子どもが理科の見方・考え方を働かせ、主体的に問題解決する姿を生み出すための指導の工夫が必要である。本研修会では以下の点に留意し、理科教育の魅力を実感しながら実践的な指導力の向上につなげたい。

基本的な観察・実験の技能の習得と教材研究

自然の事物現象に教師自ら親しみ、その感動を児童生徒に伝えられる教師の育成  
児童生徒の思考に即したさいあんを考え、本時案の作成に生かせる教師の育成  
他支部の研修生との交流

2. 開催期日 平成30年 6月 9日（土）～10日（日）

3. 開催場所 とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）  
徳島市中央公民館  
ホテル 千秋閣



### 4. 実施内容

(1) 開会行事

(2) 研修

①『プラネタリウム体験ができる「サイエンスドーム」(ドーム型簡易スクリーン)』の製作と活用



ビニールシートをセロハンテープでつなぎ合わせただけのシンプルなものですが、そのスクリーンにプロジェクタから投影する星空は、まるで異次元の空間です。天体の学習が昼間に学校で行えます。また、「サイエンスドーム」(ドーム型簡易スクリーン)は単なるプラネタリウムにとどまらず、様々な可能性を秘めた教材として他単元や教科を超えた活用が期待されるものです。

## ②「風やゴムのはたらき」実験用発射台の製作と活用



中央公民館工作室



トモニプラザ体育室

第3学年「風やゴムのはたらき」では、児童が台車から手を放す瞬間に他の要素（振動や滑り）が加わり、台車の走る距離が短くなったり、方向が変わってしまったりして実験結果にふぞろいが生じてしまう。

そこで、6つの班に分かれ再現性を高める実験器具の製作を行い、製作した発射台を使って実験を行った。



『風とゴム「ゴムカーの発射台」』の実験結果の考察について、得られた実験結果を自分の学級の子どもたちのものと想定し、学級全体での考察が容易にできるような分かりやすい提示の仕方はないのか考え発表を行った。

## ③『雨水の行方と地面の様子』について



新たに追加された「雨水の行方と地面の様子」について、雨水の流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関係付けて調べ、雨水の行方と地面の様子を捉えるようにする具体的な教材を紹介した。

## (3) 閉会行事

## 5 おわりに

2日間という短い時間であったが、熱心に取り組む若手教員の様子から本研修会で紹介した教材を通して、教師の教材研究・開発へに向かう思いを伝えることができたのではないと思う。参加された先生方の今後の活躍を期待するとともに、徳島大会が開催できたことに対して、関係各位に感謝申し上げるとともに、ソニー教育財団には、特段のご支援、ご配慮をたまわったことに深く感謝申し上げたい。